

第3回広島都市圏みちづくり懇話会

資 料

平成18年 11月 28日

国土交通省 中国地方整備局

昨今の広島都市圏を取り巻く厳しい社会経済情勢に対し、広島都市圏の活力や中枢性を高めていく取り組みが急務となっている。

そこで、現状の課題に対応し、活力ある広島都市圏の実現のためには、何に取り組むべきかについて考えていくため、広島 都市圏のみちづくりを担う国・地方自治体の代表者、及び経済界・学識経験者を代表する者が一堂に会し、意見交換を行うことを 通じて、広島都市圏の現状把握を行うとともに、「活力ある広島 都市圏の実現に寄与するみちづくり」について考えていくことを目的とする。

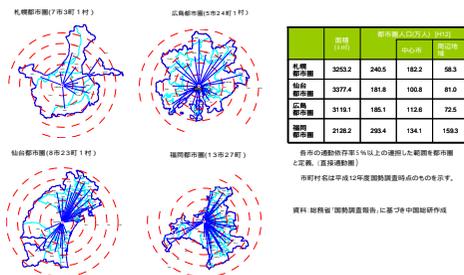
第1回資料の概要

- ・ 札幌・仙台・広島・福岡の都市圏比較を重点的に整理。（人口規模、産業規模、都市機能など）
- ・ 同様に広島都市圏内の都市別の人口規模、産業規模、都市機能などを整理。
- ・ 最後に、広島都市圏の元気に資する道路整備について言及。

以下、配布資料の抜粋

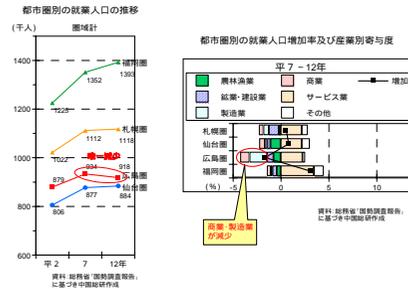
1. 都市圏の規模（都市圏人口）

・ 福岡都市圏293万人、札幌都市圏241万人、広島都市圏185万人で仙台都市圏とほぼ同規模。



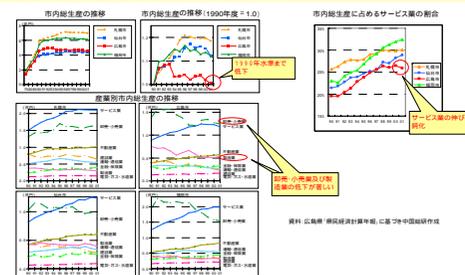
2. 人口・雇用（就業人口推移、産業別人口増加率）

・ 広島都市圏のみ就業人口が減少。特に商業・製造業従業員数減少が目立つ。



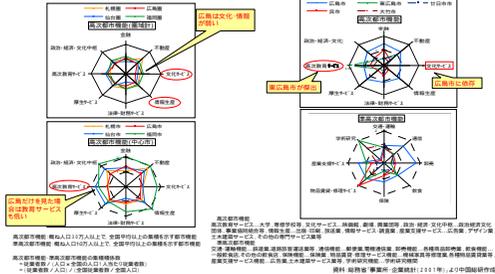
3. GDP、工業出荷額等（市内総生産、産業別市内総生産）

・ 広島市の総生産の減少が最も顕著（1990年水準に低下）。特に、卸売業と製造業の減少が大きく、サービスの伸びが鈍化。



4. 都市機能の集積状況（高次都市機能）

・ 高次な都市機能(高次・準高次)は、ほぼ広島市に集積しているが、高次教育、学術研究、物品買付・修理サービスは周辺都市にも集積している。また、各都市は個性的な産業を有している。



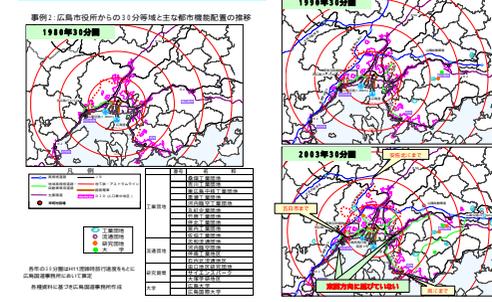
5. 国内外との繋がり（港湾、空港、国際会議）

・ 特定重要港湾の中では、広島港の取扱貨物量は少ない。広島空港の国内線旅客乗降者は仙台、小松と同程度。



6. 広島都市圏の活力に資する道路整備とは？

・ 中心地から1か所に早く(周辺域)の主な施設に到達するか



第1回で賛同頂いた事項

- ・ 懇話会の意義を再確認し議論を継続していく。
- ・ みちづくりだけでなく、まちづくりも含めた幅広い視点で議論していく。
- ・ 懇話会の議事要旨は、HP上で公開する。

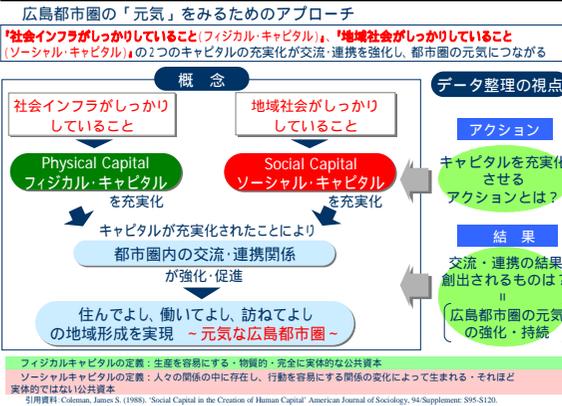


第2回資料の概要

- ・ 広島都市圏の『交流・連携』を軸にした仮説を設定
「住んでよし」、「働いてよし」、「訪ねてよし」を支える都市圏内相互の交流・連携関係の強化が広島都市圏の元気につながる仮説を設定。
- ・ 仮説を説明するためのアプローチを設定
「ソーシャルキャピタル」、「フィジカルキャピタル」を設定
- ・ 仮説を説明するための事例（データ）を紹介
「アクション」と「結果」の視点から「交流連携 元気」の事例を説明

以下、配布資料

広島都市圏の『元気』の構図(2)



都市圏の元気を見るためのデータ項目

・「住んでよし」、「働いてよし」、「訪ねてよし」の観点から元気を見るデータを整理

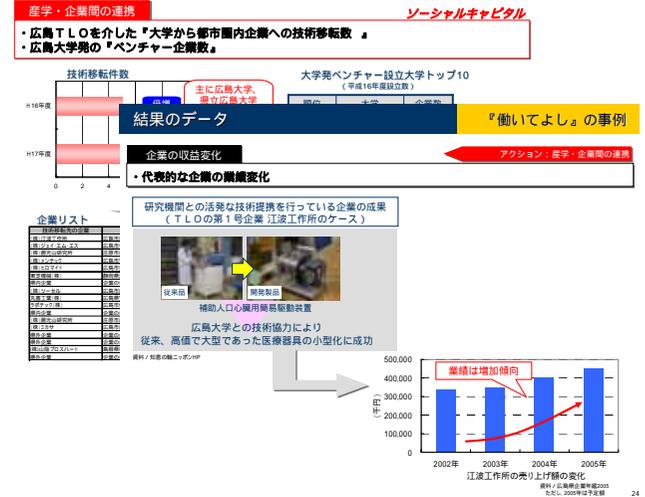
	アクション	結果
住んでよし 人口・環境・交通・医療・福祉・買い物・文化・防災・治安・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・新築竣工住宅数の変化 ・交通インフラの整備(道路ネットワーク、公共交通機関の利用客数) ・多様な文化・芸術の企画状況 ・災害時の体制整備、災害後の復旧取組み ・NPO(ボランティア)活動の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の変化 ・交通状況の変化(都市圏の連結距離、公共交通機関の利用客数) ・人の動き(通勤・通学流動、買物流動、Uターン・イターン) ・高度医療施設からのカバー圏域の変化 ・流通圏域の変化 ・災害による被害の変化 ・犯罪件数の変化
働いてよし (起業してよし) GDP・企業収益・所得・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・交通インフラの整備(道路ネットワーク、公共交通サービス) ・産学・企業間の連携(TLO、ベンチャーの設置) ・雇用支援施策 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の収益変化 ・雇況状況の変化(有効求人倍率、地域内大学からの雇用状況) ・GDPの変化、設備投資の変化 ・物流変化 ・個人所得の変化
訪ねてよし 観光資源・観光交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通インフラの整備(道路ネットワーク、公共交通サービスの提供) ・観光資源の活用 ・観光旅行の企画状況 ・NPO(観光ボランティア)活動の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数の変化 ・観光消費額の変化

赤字: フィジカルキャピタルを示すデータ
赤字: ソーシャルキャピタルを示すデータ

下線: 現状分析事例のあるデータ

アクションのデータ

『働いてよし』の事例

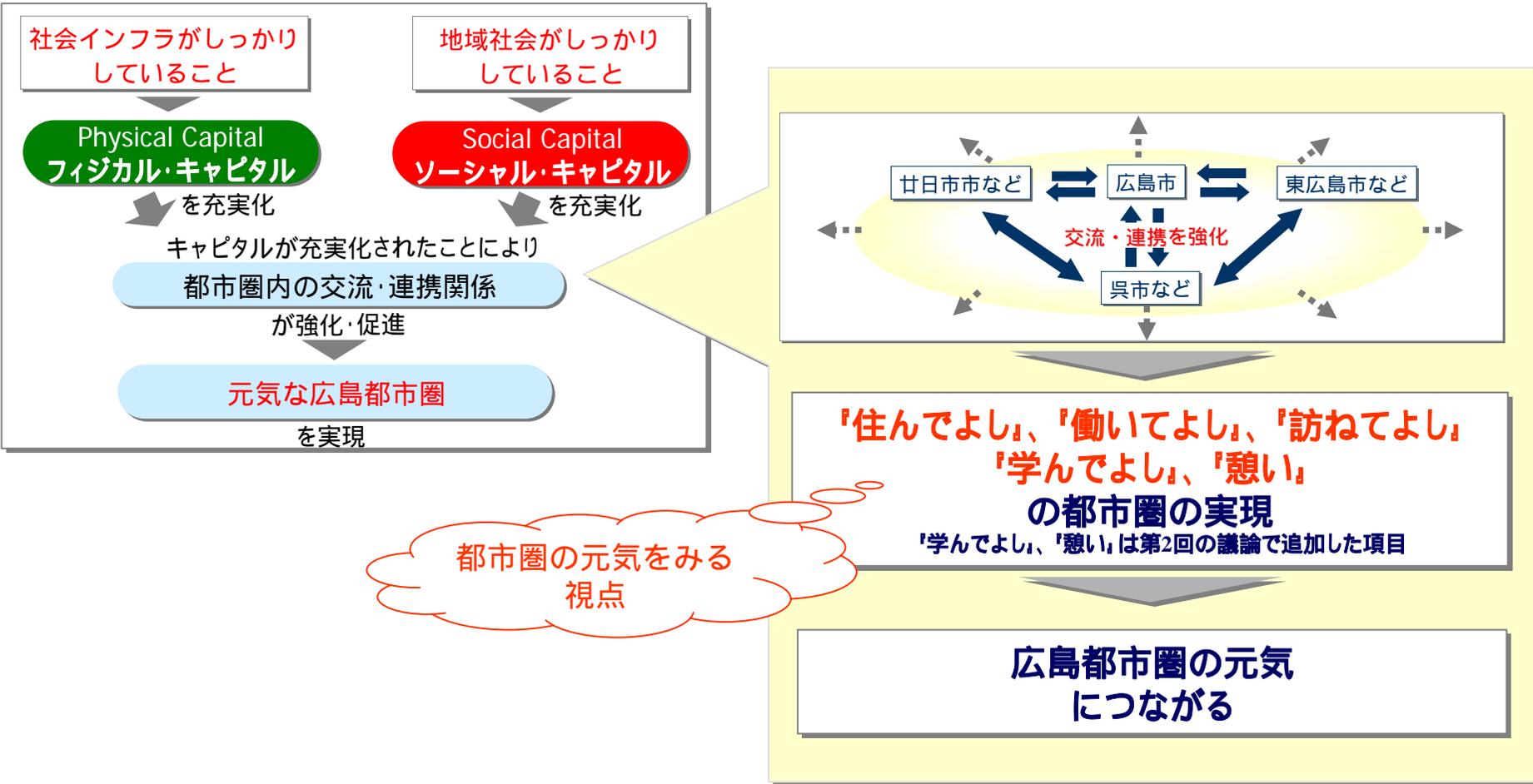


第2回で賛同頂いた事項

- ・ 都市圏内の交流・連携は、都市圏の元気につながる。

都市圏の元気につながる交流・連携の事例について議論頂く。

都市圏の元気創出のための構図 (第2回懇話会より)



都市圏の元気をみる視点

住んでよし

働いてよし

訪ねてよし

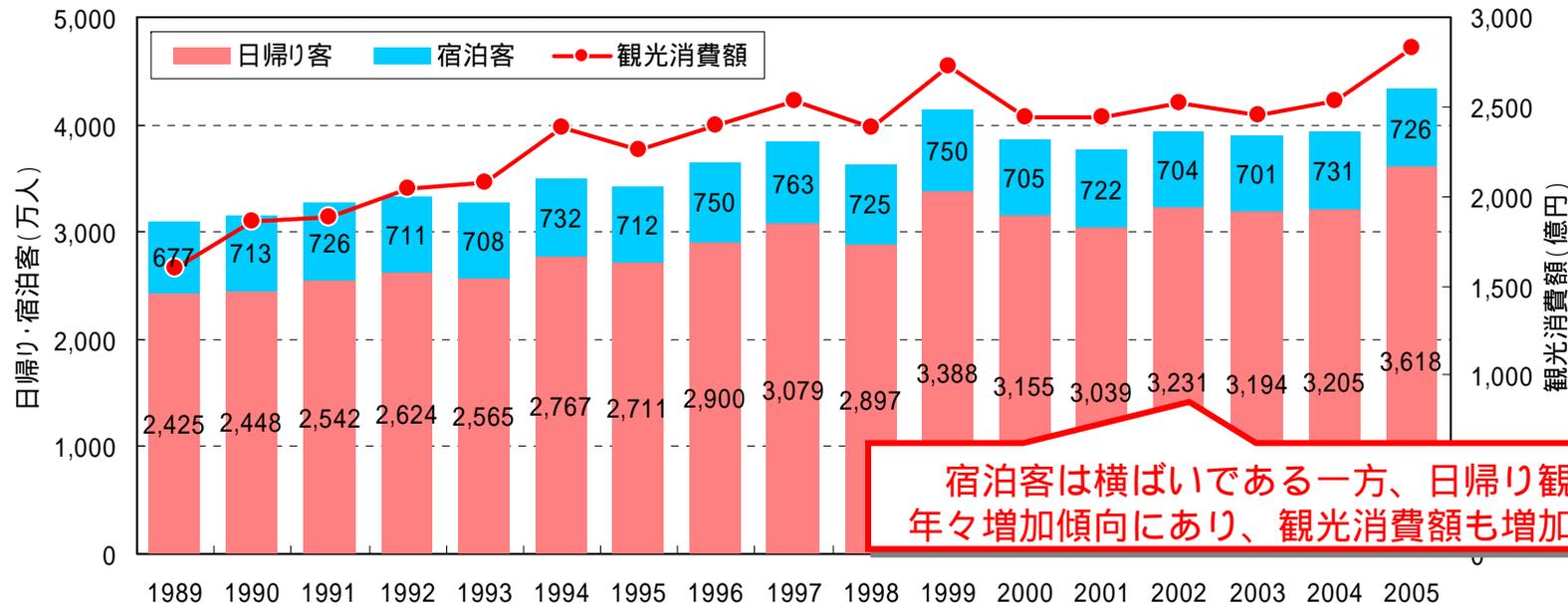
学んでよし

憩い

第3回では、『訪ねてよし』の視点に焦点をあて、
都市圏内の交流・連携が元気に結びついていると考えられる
事例を紹介する。

広島県の観光客の動向 ~ 旅行形態変化の視点 ~

広島県の日帰り・宿泊観光客数の推移および観光消費額の推移



宿泊客は横ばいである一方、日帰り観光客は、年々増加傾向にあり、観光消費額も増加傾向にある

出典：広島県入込観光客統計調査

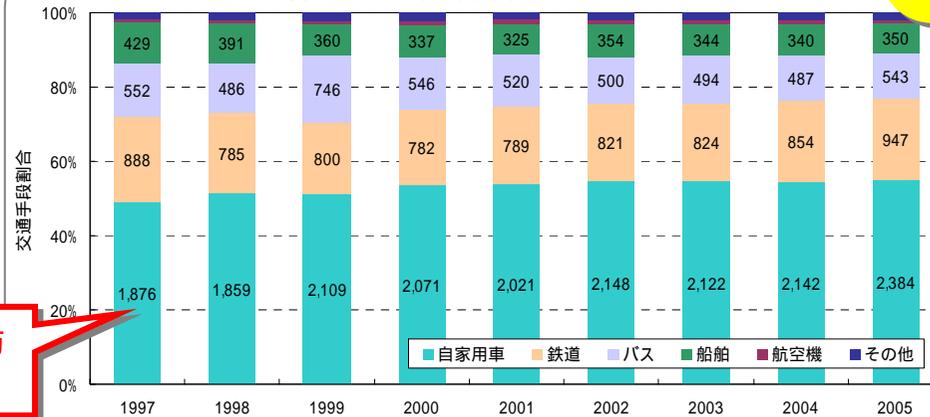
旅行業者の声

旅行代理店ヒアリング結果 (H18.9実施)

- ・近年、日帰りパック旅行の利用者は増加傾向にある。旅行代理店によっては、日帰りパックのみを取り扱う店舗もある。

自家用車による来訪が増加傾向

広島県の観光客の交通手段割合推移

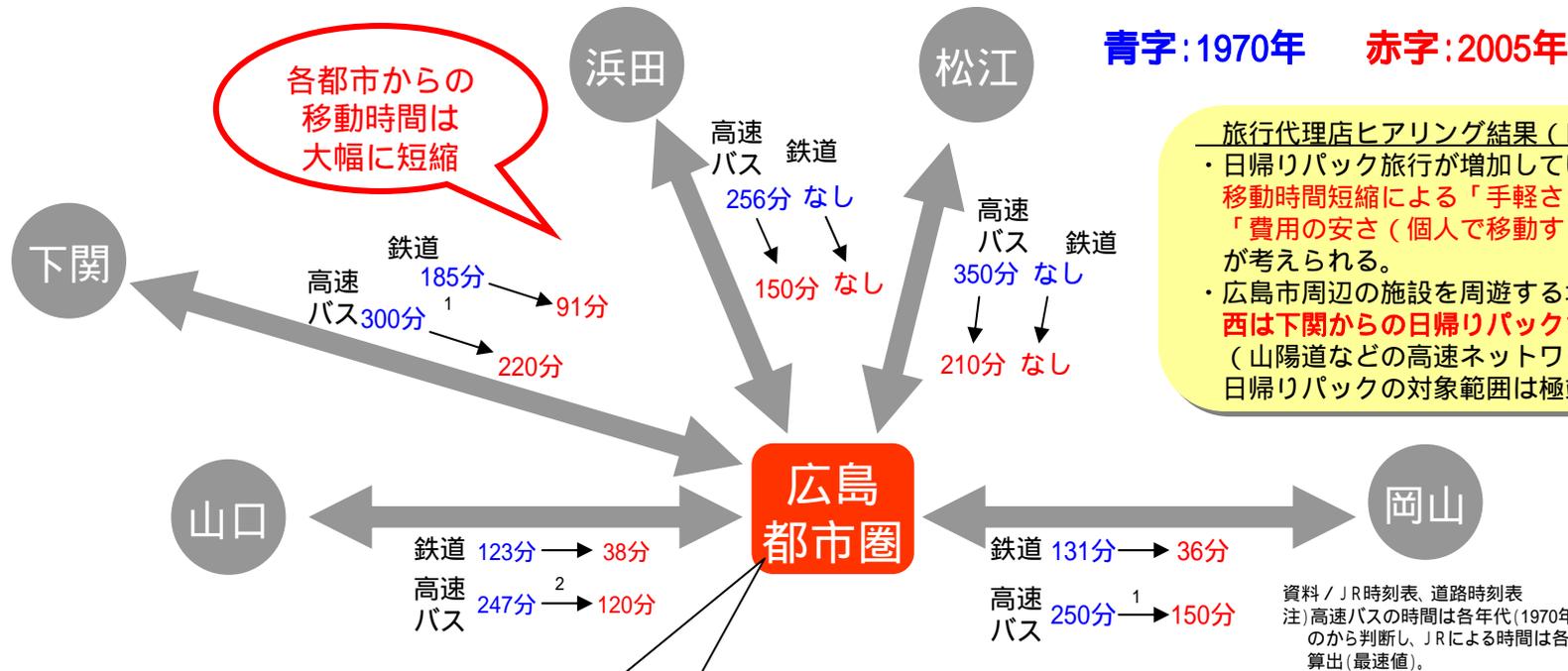


TOPICS

日帰り観光の増加により、観光消費額が増加する傾向にある
(交通手段は自家用車が増加傾向)

日帰り観光が増加している主な要因～広島都市圏に着目～

日帰り観光が増加している主な要因として、**広島市を中心とした都市間の所要時間短縮**
(集客範囲の拡大・周遊性の向上)が考えられる。



旅行者の声

旅行代理店ヒアリング結果 (H18.9実施)

- ・日帰りパック旅行が増加している大きな要因として、移動時間短縮による「手軽さ」、バス移動による「費用の安さ(個人で移動するに比べて)」が考えられる。
- ・広島市周辺の施設を周遊する場合、**東は岡山県、西は下関からの日帰りパックツアーが組まれている。**(山陽道などの高速ネットワークが出来る前は、日帰りパックの対象範囲は極端に狭かった。)

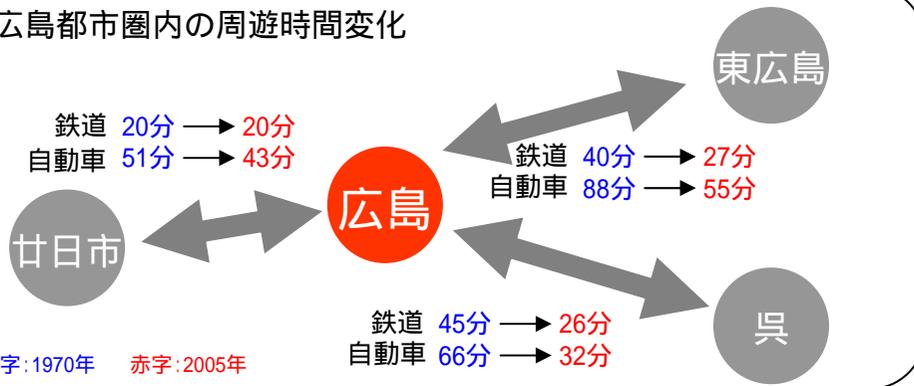
資料 / JR時刻表、道路時刻表

注) 高速バスの時間は各年代(1970年・2005年)のJR時刻表に掲載してあるものから判断し、JRによる時間は各年代のJR時刻表(1970年・2005年)より算出(最速値)。

1: 下関・岡山 - 広島間の高速バス所要時間(1970年)は、高速バス自体が運行されていないため、1990年道路時刻表を用いて国道2号ルートの所要時間を参考値として掲載。

2: 山口 - 広島間の高速バス所要時間(2005年)は、高速バスが廃止になっているため、05～06年道路時刻表を用いて山陽道ルートの所要時間を参考値として掲載。

広島都市圏内の周遊時間変化



資料 / H11道路交通センサス・JR時刻表(1970年・2005年)

注) JRによる時間短縮・便数変化は、JR時刻表より算出し、自動車による時間短縮は、1970年および2004年度のそれぞれの道路網を用いて、H11センサスの旅行速度をベースに算出。

旅行者の声

旅行代理店ヒアリング結果 (H18.9実施)

- ・昔は、広島と言えば、宮島・平和記念資料館のパックが主であったが、施設間の移動時間の短縮、新規施設のオープンなどにより、**大和ミュージアムやマリーナホップなど様々な観光施設の周遊パックを企画している。**
- ・ただし、宮島については、**観光ピーク時の渋滞が激しく、到着時間を読めない**ため、お客様にご迷惑をおかけすることもある。

観光客の増加に向けた取り組み ~ 周遊性に着目 ~

旅行形態からみた『広島都市圏の観光の現状』は

日帰り観光客の増加により、全体の観光入り込み客・観光消費額が増加

今後も引き続き観光客を増加させるためには

日帰り観光の安定確保とともに、宿泊観光の促進が必要

現在の取り組み

例えば・・・

都市圏内での周遊性を向上させるための取り組み

- ・周遊手段の多様化 (P10)
- ・周遊モデルコースの提供 (P11)

観光客に滞在して頂くための取り組み

- ・滞在型観光の推進 (P12)

地域の活力を活かした取り組み

- ・市民主導型の観光活性化 (P13)
- ・学生による観光活性化 (P14)

拠点施設の取り組み

- ・世界遺産「宮島」の観光活性化 (P15)

都市圏内での施設間の周遊性を高め、都市圏内での滞在時間を増加させることにより、観光客・消費額の増加（都市圏の元気）が求められる。

周遊成功事例：「北陸地域の周遊成功事例」

県をまたいだ取り組み

- ・石川県と福井県をまたいで運行する「おでかけ号」をきっかけに、企画旅行が人気になり、観光客が増加
- ・その他に石川県七尾市では、北陸・関西周遊ルートを開設予定。

2004年に、石川県加賀市の山中温泉観光協会と福井県の永平寺が共同で両施設を結ぶ定期観光バス「おでかけ号」を運行

さらに

2005年10月、「おでかけ号」を活用した「座禅と写経」の体験ツアーを企画

その結果

「観光客は増加」、「JTB時刻表にも載るヒット商品になった」、「旅館の稼働率も上向いた」

- ・2005年3月～10月中旬までの利用者は、6千人近くにも達した。
- ・「おでかけ号」のダイヤが大手旅行会社JTBの時刻表に掲載されるほどのヒット商品になった。
- ・山中温泉は今シーズン観光客数は久しぶりに前年を上回った。
- ・温泉観光協会は、「新たに開業した旅館だけでなく、古くからの旅館も稼働率が上向いてきた」と話している。
- ・温泉観光協会は、おでかけ号のダイヤにあわせて金沢駅や小松空港と温泉街を結ぶ直通バスが運行できないかアイデアをめぐらせている。

さらに

- ・石川県七尾市の和倉温泉「加賀屋」は、能登空港と和歌山県の南紀白浜空港とをつなぐ「北陸・関西ルート」を開設予定。
- ・「加賀屋」を中心に石川県内のホテルなど関係20社でつくる「能登チャーター機受入れ協議会」も広域化し、富山、長野、岐阜を巻き込む組織を拡大するつもり

おでかけ号



資料 / 石川県HP

おでかけ号のルート



現在の取り組み：「周遊手段の多様化」

JR・フェリーによる周遊

- ・都市圏内4施設を対象にしたJR周遊チケットを発売
- ・観光施設を結ぶクルージング船が就航

JRぐるりんパス(都市圏内4施設を対象にしたJR周遊チケット)

厳島神社、厳島神社宝物館、ひろしま美術館、大和ミュージアムの都市圏内の4施設の入場券にJRの周遊チケットを加えた周遊プラン



JR自由周遊区間は乗り放題。後世に伝える歴史スポットを、ぐるりんパスで満喫しよう。

- JR往復新幹線 普通車指定席
- 観光施設入場券 (4施設)
- 路面電車・観光船 JR宮島線・新幹線 在来線乗り放題 (指定区間内)
- お買い物＆お食事、駅レンタカーの特典

資料/JR西日本HP

- 「ぐるりんパス」と「かえり券」のご提示でご利用になれます。
- 「路面電車(広島電鉄)」「観光船(ファーストビーチ)」「JR宮島航路」「JR新幹線」「JR在来線」が2日間乗り放題! (自由周遊区間内)
- 1 厳島神社 (一回乗り)
- 2 厳島神社宝物館 (一回乗り)
- 3 ひろしま美術館
- 4 大和ミュージアム

クルージングレストラン銀河で巡る「呉湾クルージングと大和ミュージアム」

広島港を発着とした呉湾クルージングと大和ミュージアムの見学コースをセットにした周遊プラン



資料/呉市HP

JRおよびフェリーで周遊する観光施設



原爆ドームと宮島、マリーナホップと宮島を結ぶ航路



【原爆ドームと宮島を結ぶ航路】
【マリーナホップ発着のあまんじゃくクルーズ】
の2航路が就航

現在の取り組み：「周遊モデルコースの提供」

HPによる周遊モデルコースの提供

- ・広島市が中心となり、ひろしま修学旅行ガイドをHPで公開
- ・広島市を含む周辺自治体の一般的な観光地、産業観光地などを対象にし、モデルコース等を設定。

観光情報・ひろしまナビゲーターHP



半日～3日間コースまで
広島・宮島・岩国を含めた観光モデルコースを設定

ひろしま修学旅行ガイドHP



廿日市市の産業観光地、呉市の入船山記念館
などを含めた、モデルコースを設定

現在の取り組み：「滞在型観光の推進」

修学旅行の誘致

・修学旅行誘致に向けて、広島市・呉市が共同で、三重県・静岡県の中学教員を招きPR。

修学旅行誘致に向けた広島市・呉市の共同での取り組み

お好み焼き調理体験 大和ミュージアム見学



お好み焼き店で店主に焼き方を教わる三重や静岡の中学校教諭

修学旅行に来んさい

修学旅行で広島県を訪れる学校を増やそうと、広島市や呉市などをつくる実行委員会が一日、三重、静岡の中学校計十校の教員を招いた。同実行委が修学旅行やRのために県外の教員を招くのは初めてで、和学習や広島風お好み焼き、原爆資料館も見学し、

市や呉市などをつくる実行委員会が一日、三重、静岡の中学校計十校の教員を招いた。同実行委が修学旅行やRのために県外の教員を招くのは初めてで、和学習や広島風お好み焼き、原爆資料館も見学し、

修学旅行で広島県を訪れる学校を増やそうと、広島市や呉市などをつくる実行委員会が一日、三重、静岡の中学校計十校の教員を招いた。同実行委が修学旅行やRのために県外の教員を招くのは初めてで、和学習や広島風お好み焼き、原爆資料館も見学し、

広島・呉市など委 実 行 中学教員招きPR

呉市も昨年四月に開館した大和ミュージアムなどへの修学旅行誘致に力を入れ始め、今春は広島市と共同で教育関係者の招聘実行委を発足させている。

一行は三日まで滞在。同ミュージアムや江田島市での力キ打ち体験なども見学する。実行委は〇八年度までの三年間、招聘を続ける予定にしている。

広島市・呉市が共同で修学旅行の誘致活動を実施

現在の取り組み：「市民主導型の観光活性化」

市民による呉のポータルサイト作成

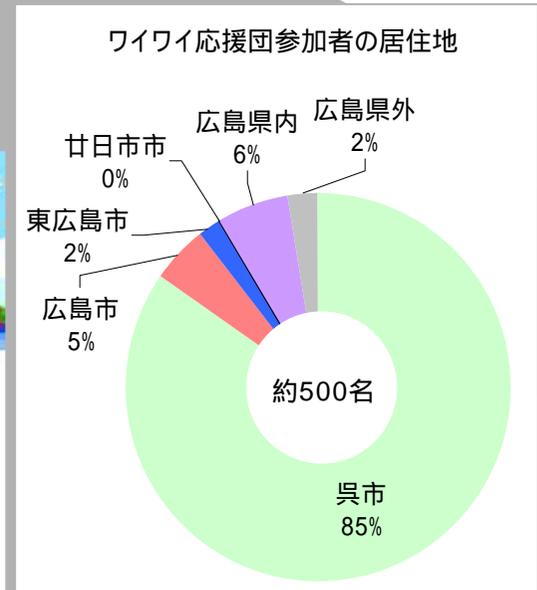
・住民による「呉市の元気づくり」のためのポータルサイトの運営(呉市民に限らず、都市圏内の他都市からも参加)

市民運営によるポータルサイト



主に呉市民により運営されているポータルサイト
ショッピング、観光案内、求人案内等、幅広い情報を提供・共有している。

現在、約500名の方々が
呉を元気にするための市民グループ
「ワイワイ応援団」に参加。
そのうち、約2割は呉市外の方々。



現在の取り組み：「世界遺産「宮島」の観光活性化」

まちづくり懇話会の開催

・廿日市市観光まちづくり懇話会において、多様な分野のメンバーが今後の宮島観光について議論を行い、具体的なアクションプログラムを策定。

参加している主なメンバー

有識者	広島大学教授 広島文教女子大学教授
住民代表	宮島町総代会長
観光関連団体	(社)宮島観光協会 厳島神社権宮司 ひろしま通訳・ガイド協会 (社)広島県観光連盟 (財)広島観光コンベンションビューロー 廿日市市観光協会 大野町観光協会 宮島口商店会
関係行政機関	中国運輸局 広島県 廿日市市
旅客輸送会社	JR西日本
マスコミ	中国新聞社 (株)中国放送
旅行会社	JTB ひろでん
オブザーバー	NHK広島放送局 環境省広島自然保護官事務所 (社)宮島観光協会

幅広い分野の有識者による議論が交わされた

廿日市市観光まちづくり懇話会の様子



廿日市市観光まちづくり懇話会報告書



観光地宮島のグレードアップ施策の提言

- ・宮島観光のおもてなし戦略等が提言され、具体的には、おもてなしのこころの醸成や快適な観光環境の整備、または交通アクセスの対策等が提言された。

提言の実現に向けてのアクションプログラム

- ・主な具体的方策としては、観光従事者の接遇やおもてなし研修の実施、快適なトイレの整備や清掃の強化、宮島口での交通渋滞の緩和等が取りまとめられた。

参考：国土交通省の取り組み（ビジットジャパン）



・ビジットジャパンは、日本人の海外旅行者が約1,600万人であるのに対して我が国を訪れる外国人旅行者は、その3分の1以下である約500万人に過ぎないことから、その格差をできる限り早期に是正するための取り組み。2010年までに約1,000万人の訪日外国人誘致を実現することを目標としている。



参考：国土交通省の取り組み（日本風景街道）



- ・ R185号みちばた会議において、「R185みちばた海道マップ」を作成するなどして観光情報を提供。
- ・ R185みちばた会議は、国道185号沿線の呉市・東広島市・竹原市・三原市にお住まいの方々と、行政の協力のもと、国道185号沿線の歴史・文化・自然などの隠れた魅力を再発見し、それらの地域資源を活かした「まちづくり・みちづくり」を行うことを目的とした取り組み。

R185みちばた海道マップ(2006年版)



参考：国土交通省の取り組み（走りやすさマップ）



- ・「走りやすさ」ランクや車線数を、色や線の太さによって視覚的にわかりやすく表示し、現地の道路事情に詳しくない観光ドライバー等へ情報提供することにより安全・安心な運転をしていただくこと、また、道路網の整備状況を面的に把握し整備計画へ活用していくことを目的としたマップ。カーナビに搭載するため、産官で共同研究。

中国幹線道路調査事務所ホームページより



参考：広島都市圏における観光施設の新規オープン・リニューアル

